

# 令和4年度 事業計画書

社会福祉法人 川福会

# 目 次

## I. 令和4年度事業計画

法 人	1
-----	---

## II. 令和4年度事業計画（各拠点）

特別養護老人ホーム福寿苑	8
特別養護老人ホームみのわの里	15
特別養護老人ホーム布市福寿苑・真寿庵	25
介護老人保健施設 枚岡の里	34
介護老人保健施設 長田の里	37
ケアハウスひらおか	44
ケアハウス喜里川	47
小規模多機能ホームごりょうの家	52
介護老人保健施設 すいれん	56
ケアフル布施	62

## III. 法人専門会議事業計画

65

## 創業者の思い

人は幸せになる権利がある

人は他人（ひと）を幸せにする義務がある

人はひとりでは生きていけない

## 法人の理念

- 一、私たち川福会は、すべての人々の人権が尊重され、皆様が安心を感じられ、生きがいを持てる社会をめざします。
- 一、私たち川福会は、地域の身近な社会資源として活動し、地域社会に貢献することをお約束します。
- 一、私たち川福会は、制度の一步先を行く法人として、新たな価値を創造し、社会福祉の向上に資することを誇りとします。

## 法人の事業目的

社会福祉法人川福会は、地域における安心の拠点としての公益的役割を果たし、ご利用者が、個人の尊厳を保持しつつ自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援すること、及び地域で「生きることに困難」を抱えている人々を支援することを目的として、次の事業を行います。

1. 第1種社会福祉事業
2. 第2種社会福祉事業
3. 公益事業
4. 社会貢献事業

## 法人のビジョン

1. 職員全員が川福会の理念を共有し、理念の実現に向かって、目標が事業・活動ごとに具体的に設定され、目標を達成するために取り組む仕組みができていて、着実にそれを実践している。
2. 社会福祉法人の使命を果たすため、財務基盤の強化とガバナンスを確立し、社会福祉法人として自立した経営を進めている。
3. 職員が、川福会に勤務していることと川福会が実施している事業を誇りとするとともに、他の法人が模範とする法人となっている。

# I. 令和4年度事業計画（法人）

## 1. ガバナンスのさらなる強化

### （1）法人の組織改編

機関、会議、職務等について、2重構造になっているものや、なくとも大勢に影響がないものを廃止、統合し、業務、会議時間等の削減を行いつつ、役割と指示系統を明確にしていきます。

また想定される経営リスク（感染対策、職員の高齢化、労務管理等）に対し、対策を講じていきます。

### （2）内部監査の実施、是正、ありかたの再検討

コンプライアンスの徹底、ガバナンスの強化、法人運営の透明性を確保し、業務の適正な遂行を図ることを目的とし、法人の機関として独立した内部監査室による、内部監査を実施し、内部監査では、事業監査及び介護報酬等監査を行います。

内部監査の知見により、事業の各部門の状況について法人が一元的に把握し、過誤の無い事業運営を指導することでガバナンスを強化し、各事業のより一層の適正運営に注力します。

### （3）組織風土診断の実施と改善

組織風土診断受審により、そこから組織の課題を抽出し、職員との認識ギャップを把握し、目に見えにくい組織風土が見えるようにし、組織風土の改善と活性化に向けた取り組みを実施します。

### （4）会計監査人指摘事項の対応

法人のガバナンスを確保するために、内部管理体制の整備と運用を図ると共に、支払資金の収支の状況、経営成績及び財政状態を把握・公表するために適切な会計処理と適正な計算書類等の作成を行うことが必要であり、独立した立場である会計監査人による監査を受け、継続的に法人の管理体制を見直していきます。

令和4年度も、指摘事項に真摯に対応してまいります。

### （5）ルール・仕組みの運用実態把握及び再検討

法人は平成24年から多くの規程、内規、細則を策定、改定し、また規則を定めて、ガバナンス強化に努めてきました。

法人のルール・仕組みは、川福会の職員としてあるべき姿となすべき行動を示している規範であり、その仕組みを適正に運用できているか実態を把握し、見直すべきものがあれば、再検討を行います。

## 2. 経営基盤の安定

### (1) 事業統廃合と加算取得による収入改善

ケアフル布施の居宅介護支援事業所を長田の里に統合し、特定事業所加算による収入改善及びケアフル布施の訪問介護にて特定事業所加算を8月に取得し、収入を改善します。

福寿苑、布市福寿苑、すいれんにて看取り加算を取得し、利用者処遇を向上させ、収入を改善します。

また、通所介護にて機能訓練に注力し、収入を改善します。

### (2) 経費削減による支出の改善

経費については商品の統一や業者変更等により、法人の経費率を26.9%（令和3年度中間決算値）から25.6%に削減します。

対象の商品は紙おむつ、ラバーシート、フェイスタオル、ハンドタオル、清拭他、衛生用品や事務用品とします。

また、エレベーター管理会社、給食委託会社とも交渉を行います。

## 3. 地域共生社会の実現に向けて

### (1) 地域のニーズ把握

地域共生社会の実現のためには、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築が必要であり、その支援体制の構築のためには住民の住み慣れた地域での生活ニーズ・福祉課題を明らかにする必要があります。

川福会の事業所が所在するそれぞれの地域において、アンケート調査や地域住民との座談会、関係機関との連携会議等を開催し、そのニーズ把握に努めます。

### (2) 認知症の方への地域共生のありかたの検討

認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人やそのご家族を支援するため、認知症ケアの標準化、相談支援体制の充実、認知症支援者養成研修の継続、若年性認知症の方への雇用、就労、支援へのつなぎ等の対策を講じることで、地域共生のありかたを検討します。

### (3) 地域公益活動の評価

近年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、サロンやカフェといった住民参加型の地域公益活動については制限が生じており、引き続きコロナ禍においても当法人で行える地域公益活動を検討しつつ、これまで取り組んできた地域公益活動の評価を行い、さらに充実した地域公益活動をおこなえるよう検討します。

#### 4. 職員の働き方改革と育成

##### (1) 適正労務管理の理解促進、実態把握とその是正

管理職については適正労務管理体制の運用理解のみならず、労働法令についてもさらに理解を深める必要があるため、今後も継続して勉強会を行います。

また、法人として管理職が適正な労務管理が行えているかを適宜確認し、是正が必要な事項があれば法人で共有することで、さらなる適正労務管理に注力します。

##### (2) 各施設の時間軸の統一及び業務改善

各施設の24時間業務はそれぞれの時間軸があり、夜中のおむつ交換や食事時間にはばらつきがある等、統一されておりません。

特養、老健については、食事時間、おむつ交換の時間を統一することで、利用者処遇の向上を図ります。

また、不必要な記録の廃止や統合を行います。

業務改善実施状況について一覧表を作成し、法人内で共有します。

##### (3) 職員勤務の標準化と事業所間格差の解消

各施設の時間軸の統一により各施設で統一されていない不規則な職員の勤務時間を精査していきます。

またケアフル布施については開設当初から事業所独自の就業規則があるため、法人統一の規則に改定します。

##### (4) 職員採用のありかたの再検討

40歳以上の職員が法人職員の3分の2を占める状況があり、職員の高齢化が進む中、中途採用職員の採用から教育までのフローを見直します。

また、パート職員の正職転換の告知を随時行うことや学生アルバイトの受け入れを積極的に行います。

#### 5. BPR計画の推進

##### (1) 電子データの標準化

各拠点で使用する帳票類や報告書等については、拠点ごとその様式等の違いがみられます。法人内で、紙媒体から電子データへ移行とその標準化をすすめ、拠点内や法人内で情報共有の迅速化、資料に係る紙・カウンター料金、インク等の削減を図ります。

##### (2) 業務フローの標準化及び手順書の作成

拠点ごとに違いのある業務フローの見直しを行います。

施設サービスの1日の流れについて、法人内で統一し利用者へのサービスの向上と業務効率化を更に推進していきたいと考えています。

### (3) PCログ等の勤務実態のありかた検討

働き方改革の一部としてテレワークの導入と、新型コロナウイルスの影響でテレワークの推進をまいりました。

テレワーク中の労働時間を適正に管理する手段の一つとして、PCログ等の管理について検討します。

## 6. 感染症対策及び災害対策

### (1) 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン見直し

新型コロナウイルス感染拡大により当法人の事業運営の在り方にも大きな影響がありました。

感染拡大を防止するため、法人の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを策定しておりますが、感染状況の変化に合わせて見直しを行い、感染防止対策を徹底してまいりたいと考えています。

### (2) 災害対応BCPの見直し

各拠点の状況に合わせた災害対応BCPを策定しておりますが、近年の自然災害事例から、公共交通機関・ガス・水道・電気等の被害を想定し、改めて災害対応のBCPの見直しを実施し、BCPの内容のさらなる充実を図りたいと考えています。

### (3) 市町村等関係機関及び地域自主防災組織との連携検討

社会福祉施設は自力避難が困難な方が多数入所する施設であり、施設の安全対策の強化に努める必要があります。自然災害対策として、平時より市町村等関係機関及び地域の自主防災組織と連携を検討し、地域防災計画及びハザードマップ等に基づいた効果的な防災訓練の実施が必要と考えています。

## 7. 新・続3か年計画からの継続計画

### (1) 第3者評価受審無し施設の自己評価実施

介護老人保健施設や軽費老人ホーム、小規模多機能ホームにおいても介護老人福祉施設の受審結果から抽出した課題をそれぞれの施設形態に落とし込み、その自己評価を行います。

### (2) 第3者評価指摘事項改善の実施及びその効果検証

施設長部長会議、サービス向上会議・介護士連絡会で受審結果や各施設の現状について協議、検討し、明らかになった課題に対して、施設運営管理、利用者処遇それぞれに施設ごと改善計画を策定、その計画に沿って実施した取り組みに対してその効果を検証していきます。

(3) すべての職種への人事考課の実施

令和2年度から一部の職種をはじめとして、人事考課の実施を拡大してきました。

面談では、考課者が評価項目の説明を行い、具体的な目標を立案したうえで、考課者と被考課者で理解の共有を図っています。

今後、考課者及び被考課者に人事考課制度・評価基準・基準の解釈等理解を深めるための教育を実施し、人事考課をすべての職種に対して開始したいと考えています。



社会福祉法人川福会 中期計画（令和3年度から令和5年度）一覧表

中期計画7つの柱	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1 ガバナンスの更なる強化	評議員の増員 内部監査の実施、是正 ガバナンス強化の情報発信方法検討 会計監査人指図書事項の対応 法人のルール・仕組み理解の徹底	法人の組織改編 内部監査の実施、是正、ありかたの再検討 組織風土診断の実施と改善 会計監査人指図書事項の対応 ルール・仕組みの適用実態把握及び再検討 事業納税台と加算取得による収入改善 経費削減による支出改善	法人ビジョン達成確認と今後のビジョン検討 内部監査の実施、是正、ありかたの再検討 今後のガバナンス強化に向けた対応検討 会計監査人指図書事項の対応 令和3年度・令和4年度課題への対応
2 経営基盤の安定	法人全体での損益黒字化 加算取得計画に基づく取得 法人全体での人件費率と経費率の定率化 事業納税合の検討	事業納税台と加算取得による収入改善 経費削減による支出改善	全国平均の稼働率・単価を実現 既存併設事業の今後のありかたの検討 令和3年度・令和4年度課題への対応
3 地域共生社会の実現に向けて	地域のニーズ発掘方法の検討 認知症理解推進の継続 コロナ禍における地域公益活動の検討 医療との連携強化 社会福祉連携法人制度の情報収集と制度理解	地域のニーズ把握 認知症の方への地域共生のありかたの検討 地域公益活動の評価	法人としての機能的相談窓口の設置の検討 実施している地域公益活動の再検討 令和3年度・令和4年度課題への対応
4 職員の働き方改革と育成	適正労務管理の理解促進、実態把握とその是正 多様で柔軟な働き方の検討継続 さらなる業務改善の実施・見える化・効果測定 新卒・中途採用プロローの見直し	適正労務管理の理解促進、実態把握とその是正 各施設の時間軸の統一及び業務改善 職員勤務の標準化と事業再開格差の解消 職員採用のありかたの再検討	適正労務管理の理解促進、実態把握とその是正 さらなる業務改善の実施、見える化、効果測定 令和3年度・令和4年度課題への対応
5 BPR計画の推進	会議・研修・採用・見学のWEB化（R2一部実施） 月次報告資料のWEB管理 IIT管理・電子文書取扱いの理解促進・徹底	電子データの標準化 業務フローの標準化及び手順書の作成 P C R O G 等の勤務実態把握のありかたの検討	BOシステム運用の発達 IIT管理・情報セキュリティの再検討・改善 令和3年度・令和4年度課題への対応
6 感染症対策及び災害対策	感染症対応BCPの策定 効果的な防災訓練のありかたの検討 各施設の福祉避難所としての機能検討	新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン見直し 災害対応BCPの見直し 市町村等関係機関及び地域自主防災組織との連携検討	感染症対応BCPの策定の見直し 災害対応BCPに基づく防災訓練 令和3年度・令和4年度課題への対応
7 新・統3か年計画からの継続計画	第3者評価受審施設の比較検証 第3者評価指図書事項の改善計画策定 人事考課者の教育と被考課者の人事考課理解促進	第3者評価受審無し施設及びその効果検証 第3者評価指図書事項改善の実施及びその他の効果検証 すべての職種への人事考課の実施	利用者処遇改善の全施設への展開 人事考課規程・評価基準の見直し 令和3年度・令和4年度課題への対応

特別養護老人ホーム 福寿苑 事業計画

【1】 施設方針

- ① 長期にわたるコロナ禍において、早期に感染症予防対策の情報収集と共有に努め、提供する福祉サービスの質を低下させることなく運営。事業所間においても、その連携を強化し事業運営を継続していきます。
- ② 業務監督職を中心として事業収支や運営内容についてしっかりと目を向け、ご利用者ニーズにこたえる事を優先に考えたサービスを実施。収益の安定につながる適正な事業運営を行っていきます。
- ③ 安定のある介護職員配置を目標として、求人募集媒体および派遣会社等は継続的に利用していきます。また働きやすい事業所へと変化し人材定着につながる取り組みと人材の呼び込む事ができる風通しの良い職場風土づくりを実施していきます。
- ④ 地域の方々が地域資源を活用し暮らしの継続ができるように当拠点事業所は高齢者福祉事業の実施をするだけでなく、地域の拠点として連携し必要な支援にこたえていける社会貢献、福祉活動を行うなど求められる役割を認識し共生社会の実現に向けて活動をしていきます。

【2】 各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点全体	—	72.5%	24.3%	6.4%	△3.2%
特別養護老人ホーム	95.0%	75.0%	31.2%	7.8%	△14.0%
短期入所	95.0%	42.6%	20.4%	1.8%	35.2%
通所介護（一般）	70.0%	71.7%	22.4%	13.0%	△7.1%
通所介護（認知）	65.0%	60.5%	14.3%	6.2%	19.0%

	訪問件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
訪問介護	月 260 件	104.0%	10.9%	1.5%	△16.4%
	1名1日あたり4件				

※訪問介護については、常勤換算にて2.5名（1日平均訪問件数9.3件）を目標としています。

	担当件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
居宅介護	190/月	71.6%	2.9%	0.6%	24.9%
	1名1月39件				

※担当件数は常勤職員の件数であり、嘱託・パート職に関しては契約内容、勤務の日数等に応じます。

	担当件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
介護予防	200/月	41.6%	41.9%	0%	16.5%
	1名1月42件				
	相談件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
地域包括	年1200件	85.5%	13.4%	2.2%	△1.1%
	予防教室等170件(年間)				

※教室は介護予防教室・家族介護教室・グループ活動支援・地域ケア支援集団などの合計件数。

### 【3】拠点各事業の計画

#### (1) 特別養護老人ホーム福寿苑(短期入所事業を含む)

- ① 各種加算の取得に着目し、年間利益率の底上げを狙います。褥瘡予防、経口摂取維持、ADL維持向上など継続性が重要な取り組みに根気よく向き合い、サービスの質向上と収益の向上を一体的に達成してまいります。
- ② 介護と看護が連携し、ご利用者の健康状態把握、状態変化のあった際は早期発見から適切な対応を行い、24時間365日ご利用者、ご家族へ「安心」を提供できる職員体制の整備に努めます。具体的には、スタッフの“判断の差”がないように教育指導を行い24時間状態変化があった際の異常を適切に対応できる体制を構築します。
- ③ 福祉人材不足により派遣会社に頼らなければならない状況であるが、安定した人材の雇用を目指し、労働環境改善に目を向け、教育や指導を行ってまいります。また突発的な状況にも対応ができる事業所作りをしてまいります。

#### (2) 福寿苑デイサービスセンター

- ① 専門職における業務整理やサービス提供体制を整備し、ニーズにあわせた介護サービスが安定して提供出来る事業所運営を目指します。
- ② 各専門職種と連携し適切な内容の介護サービス提供をしていくため、職員に研修等の機会を設け介護技術向上に取り組んでいきます。
- ③ 認知症を抱えるご利用者や地域住民の集える事業所にしていくため、職員が地域に寄り添い支えることができる事業所を目指し活動を行います。
- ④ 業務IT化促進と福祉用具等を活用にて、業務効率アップと介護負担の少ない介護が行える環境を目指し、時代に即したデイサービスを目指します。

### (3) 福寿苑ヘルパーステーション

- ① 毎月の勉強会を開催、外部研修の積極的な参加により、職員の資質向上に努めます。
- ② 労働環境の整備やOJTの活用・適宜職員からのヒヤリングを行う事により、職員定着に努めます。
- ③ 人員の充足を目指し、積極的に人材確保に努めると同時に、効率的な人員配置を実施しコスト削減に努めます。
- ④ 事業所の取り組みである利用者宅の防災点検を継続して実施し、防災意識の啓発と法人が掲げている「法人としての地域防災活動」に協力して参ります。

### (4) 福寿苑居宅介護支援事業所

- ① 「質の高いケアマネジメントの推進」
  - ・定期的な会議実施、各担当者の利用者状況を共有。事業所全体で対応する。
  - ・個別研修計画を策定し、ケアマネージャーのスキルアップを図ります。
  - ・地域包括支援センターや他の居宅介護支援事業所の合同事例検討会に参加、多種多様なニーズに対応できる力をつけていきます。
- ② 「業務効率を図りワークライフバランスの実現」
  - ・フレックス制度を活用し、ワークライフバランスを図り個別ニーズに対応していく。
  - ・テレワークを有効に運用し多種多様なワークスタイルの構築を図る。
- ③ 「地域の諸機関との連携強化」
  - ・地域包括支援センターからのケース受け入れにあたり対応困難なケースも受け入れができる体制を常時確保していきます。
  - ・多職種連携の場には積極的に参加し、連携強化に努め関係性を構築していく。

### (5) 地域包括支援センター福寿苑

- ① 昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により介護予防教室、家族介護教室、認知症カフェなど事業展開が困難なものが多くあった。今年度も継続して感染予防対策が求められ、集合開催・リモート開催を併用するなどして参加できるかたが多くなるよう取り組んでいきます。
- ② 地域高齢者の閉じこもり予防を促す「縄手北生き生きマップ」作成について配布が完了しましたので、マップ利用状況の評価をもとに新たな地域課題への取り組みを高齢者生活支援等会議メンバーと協力していきます。
- ③ 地域包括ケアシステム構築に関して、新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ2年間は十分な取り組みが行えませんでした。ケアマネ支援研修会や多職種連携研修会などコロナ禍であってもつながりを維持するため積極的にリモート開催を行っていきます。

- ④ 共助まちづくりのため、「認知症サポーター養成講座」は集合・リモート併用し、これまで同様にコロナ禍であっても継続的に実施します。

【4】単年度高額支出（予算額）

- ① 災害備蓄食更新（非常時3日間分）45万円 更新時期 令和4年12月  
 ② 給湯ポンプ2号機修理（1台）30万円 更新時期 令和4年度中

【5】地域の公益的な取組

コロナ禍における新しい生活習慣はコロナウイルス株の変異やその感染状況に大きく左右される状況が続いているので状況に則した対応をしていく。  
 昨年度も計画をしていた「地域、医療と介護の連携」や「高齢者向けサロン」の運営、及び坂が多い地域では地域ニーズである「買い物ツアー」について十分な活動が行えていない。コロナ禍の状況にあわせて継続していくが、コロナ禍では健康の安全確保が難しいなどもあるため複数を招集する型の活動から少数に絞って行うなど、その機会は失うことなく実施していきます。

【6】別表

年間防災訓練計画（特別養護老人ホーム福寿苑）

月	種別	内容
4	基礎訓練	新規職員を対象とした消火器の取り扱い、消火活動訓練、水消火器を使用した模擬消火訓練
6	BCP訓練(天災)	ライフライン停止から復旧までを想定した、備蓄食の取り扱い及び廃棄物の処理方法などの訓練
9	総合訓練	【消防職員立会いによる3施設合同の総合訓練】職員と入所者を対象とした通報、消火、排出訓練
11	BCP訓練(感染)	感染症発生拡大から蔓延抑圧までを想定したシミュレーション訓練
12	夜間総合訓練	夜間並びに日祝日等職員の少ない場合を想定した夜勤者・宿直者による通報、消火、避難訓練
2	土砂対策訓練	職員と3.4.5F入所者を中心とした土砂災害時基礎訓練

年間行事計画

○特別養護老人ホーム福寿苑

月	行事内容	
4	花見ドライブ	
5	春の外食ドライブ	※端午の節句・母の日
6	春の外食ドライブ	※父の日
7	七夕会	
8	夏祭り	
9	敬老祝賀会	
10	秋の外食ドライブ	※運動週間
11	秋の外食ドライブ	
12	クリスマス会	
1	元旦祭、初詣	
2	節分祭	
3	ひな祭り	
毎月開催	・誕生日会・ホーム喫茶・DVD観賞会・各種レクリエーション ・書道クラブ	

○福寿苑デイサービスセンター

月	行事内容
4	お花見
5	室内運動会
6	おやつ作り
7	七夕祭り
8	夏祭り
9	敬老祝賀会
10	文化祭
11	焼き芋大会
12	クリスマス会
1	新年会
2	節分祭
3	ひな祭り
毎月開催	・季節のお風呂・誕生日・リズム体操・アコーディオン演奏会 ・カラオケ・ごちそうの日

年間研修計画

○特別養護老人ホーム福寿苑

月	研修内容 (テーマ)
4	褥瘡に関する研修 (褥瘡ケア)
5	事故・リスクマネジメントに関する研修 (事故予防)
6	食中毒に関する研修 (感染症)
7	身体拘束・虐待に関する研修 (身体拘束)
8	安全対策に関する研修 (安全対策)
9	事故・リスクマネジメントに関する研修 (事故予防)
10	苦情対応に関する研修 (苦情対応)
11	認知症ケアに関する研修 (認知症ケア)
12	感染症に関する研修 (感染症)
1	個人情報保護についての研修 (個人情報保護)
2	高齢者の人権・虐待に関する研修 (人権、虐待)
3	プライバシー保護に関する研修 (プライバシー保護)
不定期	ミニ研修 (ハラスメント、OJT、クレーム対応、法人理念ビジョン、プライバシー保護、リハビリテーション、看取り対応、LIFE、排泄支援など)

○福寿苑デイサービスセンター

月	研修内容 (テーマ)
4	接遇と苦情対応
5	安全運転
6	移乗介助
7	緊急時対応とBCPについて
8	虐待と身体拘束
9	食事介助
10	認知症
11	感染症
12	入浴介助
1	個人情報
2	排泄
3	認知症について

○福寿苑ヘルパーステーション

月	研修内容 (テーマ)
4	接遇マナー
5	認知症研修
6	食中毒の基本と予防
7	熱中症の予防と対策
8	個人情報保護とプライバシー
9	防災会議、救急救命
10	高齢者虐待と人権
11	感染症の基本と対応
12	ヒヤリハット・リスクマネジメント
1	メンタルヘルス
2	介護技術研修
3	法令遵守
備考	※外部研修の伝達研修等、ミニ勉強会の適宜実施



特別養護老人ホーム みのわの里 事業計画

【1】施設方針

- ① 職員全員が法人理念を共有し、それを基に行動することができ、ご利用者及びそのご家族・地域の皆様等にとって、なくてはならない存在となるよう人間力を高めます。
- ② 感染症や災害が発生した場合であっても、ご利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供されるよう、事業継続に向けた取組と日頃からの備えの取り組みを推進します。  
また、新型コロナウイルス感染症等において、感染予防対策を適切に講じることで安全、安心なサービス提供に努めます。
- ③ 住み慣れた地域の身近な社会資源（施設）として、地域の皆様の尊厳を保ちつつ、必要なサービスが提供できる取り組みを行い、地域になくてはならない社会資源（施設）となります。
- ④ 介護記録システムの活用強化の継続、拠点内の通信ネットワークの活用を推進することで業務効率の向上（生産性の向上）を目指します。業務をスリム化し、ご利用者支援の厚みを増すこと、職員の研修を積極的に行うことで、サービスの質の向上を目指します。
- ⑤ 職員同士が互いを受け止め、認め合うことで「風通しの良い職場環境」作りを推進します。適切なコミュニケーションを図ることで、働きやすい環境を作り、ワークエンゲージメントを高め、利用者処遇の向上を目指します。

【2】各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	—	67%	23%	5%	5%
特別養護老人ホーム	95%	60%	28%	5%	7%
短期入所生活介護	85%	65%	22%	7%	6%
通所介護（障害含）	82%	75%	12%	5%	8%
認知症対応型通所介護	67%	75%	15%	3%	7%

※減価償却費率は（減価償却費－国庫補助金等特別積立金取崩額）÷収益

		訪問件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
訪問入浴	延べ	777 件	121%	5%	2%	△28%
	1 日	3.0 件				
訪問介護	延べ	5,100 件	109%	2%	1%	△12%
	1 人 1 日	3.5 件				

※訪問入浴の訪問件数は年間延べ利用者数と1日あたりの訪問件数

※訪問介護の訪問件数は年間延べ利用者数と職員常勤1の1日あたりの訪問件数

		担当件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
居宅介護	延べ	2607件	79%	3%	1%	17%
	1人1月	39件				
介護予防	延べ	2340件	60%	44%	0%	△4%
	1人1月	39件				

※担当件数は年間延べ利用者数と職員常勤1の1か月あたりの担当件数

		開催件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
地域包括	教室等	115件	90%	6%	2%	2%

※開催件数は、介護予防教室・家族介護教室・グループ活動支援・地域ケア支援集団・認知症カフェ・認知症サポーター養成講座・生活支援コーディネーター活動（集団）の合計件数

### 【3】拠点各事業の計画

#### （1）特別養護老人ホーム

- ① 介護記録システムの活用強化を行い、日々の業務の見直し、効率化を図り働きやすい職場環境を整えます。業務改善した時間をご利用者支援にあて、充実した生活を送れるように努めます。
- ② 人権についてより理解し、身体拘束ゼロに向けて取り組みます。
- ③ ご利用者・ご家族の要望に応えるため、個別支援の充実を図ります。
- ④ ご利用者に季節を感じていただけるよう、季節感のある行事を充実させていきます。
- ⑤ ご利用者に楽しい・美味しいと感じていただける食事を提供し、一人ひとりの状態に応じた栄養管理を実施します。食事に関する情報をブログを通じて発信します。

#### （2）短期入所生活介護

- ① 機能訓練体制における機能訓練の充実化を図り、住み慣れた場所で在宅生活が継続して行えるよう支援します。
- ② ご利用者・ご家族の要望に応えるため、個別支援の充実を図ります。

#### （3）通所介護・認知症対応型通所介護・身体障害デイサービス

- ① 科学的推進体制加算を取得し、質の向上に努めます。

- ② 認知症対応型のご利用者を対象に、作業療法クラブ活動週間を毎月開催し、認知症の進行予防に努めます。
- ③ 通所介護計画書作成をブルーオーシャンでの作成に移行を行う事で、業務効率化を図ります。

#### (4) 訪問入浴

- ① ご利用者の状況に合わせ、柔軟にサービスを提供します。
  - ・ターミナルケアのご利用者を積極的に受け入れる。
  - ・空き曜日のスポット利用、週の複数回利用を促します。
  - ・体調不良等で利用キャンセルになった際の振替利用の声掛けを積極的に行う。
- ② 新規利用獲得の為積極的に営業活動を行う。
  - ・新規事業所開拓を月1件以上目指します。

#### (5) 訪問介護

- ① ヘルパーの採用を促進
  - ・求人媒体や自施設の求人ラックを活用し人材確保に努めます。
- ② 新規利用者獲得に努めます。
  - ・毎月、新規利用者2名を目標とします。
- ③ 要介護者、特に身体介護を増やします。
  - ・身体介護の割合、30%を目標とします。
- ④ 自費サービスの受け入れを行っていきます。

#### (6) 居宅介護支援事業所

- ① 定期的な会議や研修の参加、困難事例などの対応を行い重層的支援が行えるよう専門職として質の高いケアマネジメントを提供します。年間18件の外部研修（障がい福祉や医療）や事例検討会などに参加し、伝達研修を行うことで重層的支援体制に対応できる専門性の資質向上を図ります。
- ② 地域との交流を図る事で共に成長する事に繋がり、繋がりを持つ中で共に地域の身近な社会資源として貢献します。地域の他法人と合同の事例検討会実施や研修会に参加し情報交換や共有を行っていきます。  
医療機関や地域事業者と連携を図ります。
- ③ テレワークやウェブを活用し業務効率を図ると共に感染症災害時や自然災害時にも対応できる体制づくりを行います。テレワークを推進し業務効率化を図り残業削減を行います。

(7) 地域包括支援センター

- ① 初めて文科系（園芸・俳句）の予防教室立ち上げを実施します。
- ② リモート型予防教室を始動します。（ラインの公式アカウント活用等）
- ③ ケアマネジャーの後方支援として法定外研修を継続して開催します。
- ④ 高齢化の進む府営住宅で集会所を活用した教室や講座の定期的開催します。
- ⑤ 圏域事業所との連携強化のための交流会や勉強会を継続します。
- ⑥ 昨年度、実現できなかった集会所や店舗などの出張型相談会の安定した実現を目指します。

(8) 事業全体で取り組むべき事項

- ① 各事業で継続的に業務改善に取り組めます。
  - ・事業ごとに解決すべき課題を把握し、改善策の立案、実施に取り組めます。
- ② 感染症や災害への対応を強化します。
  - ・BCP、感染症防止マニュアル等の見直しにより、発生時に備えた取組みや発生時の業務継続に向けた対策を強化します。
- ③ 風通しの良い職場環境づくりに取り組めます。
  - ・職員1人ひとりが、お互い認め合い、相談しやすい環境づくりに取り組めます。
  - ・OJT・OFF-JTを通じてワークエンゲージメントを高めます。

【4】単年度高額支出（予算額）

利用者処遇の向上・業務改効率の改善・職員の職場環境整備を目的に以下の内容を計画いたします

<特養>

・インターカム導入（特養） 1,500,000円

<BCP関連>

・非常時対応備品

備蓄食（特養・デイご利用者用） 650,000円

【5】地域の公益的な取組

- ① 対象地域を限定せず介護予防教室等を開催し広域的にフレイル予防に取り組めます。又、コロナ禍におけるリモートを活用した予防教室を推進します。
- ② 月1回地域清掃を行い、地域美化運動に取り組めます。
- ③ 地域住民への車椅子の無料貸出しを行います。

【6】別表

(1) 防災訓練

月	種別	内容
6	総合訓練	職員、入所者を対象とした通報、消火、避難 総合訓練
10	夜間訓練	夜間、日祝日等職員の少ない場合を想定し て、夜勤者・宿直者による通報、消火、避難 訓練
12	地震訓練	大地震発生時の初動 30 分の行動シュミレー ション訓練 (BCP に基づく訓練)
2	緊急連絡訓練	緊急時、全職員への通報訓練及び緊急動員を 要請する訓練

(2) 特別養護老人ホーム行事・委員会・クラブ活動等

月	行事内容	委員会等	広報委員会
4	屋台行事（施設内行事）		防災営繕委員会
			給食委員会
5	外出行事（お取り寄せ行事）		施設介護計画委員会
			特養事故防止対策委員会
6	スイカ祭		入所選考委員会
			特養感染症予防対策委員会
7	外出行事（お取り寄せ行事）		環境美化委員会
			身体拘束防止委員会
8	盆踊り大会		特養研修推進委員会
		安全衛生委員会	
9	敬老祝賀会	痰の吸引等安全対策委員会	
	愛保育園児訪問	行事クラブ推進委員会	
	秋祭りだんじり見物	特養看取り介護委員会	
10	ハローウィン行事	ICT推進委員会	
	みのわの里 福祉祭	褥瘡予防委員会	
11	秋の収穫祭	クラブ活動等	クッキングクラブ（定期）
			折紙クラブ （1月と8月を除く毎月）
			習字クラブ （1月と8月を除く毎月）
12	クリスマス会		カラオケ（定期）
	年末もちつき見学		法話会（毎月） ※ただし1月は除く
1	元旦祭		いきいき歌体操（毎月） ※ただし1月は除く
2	節分祭		—
3	憩いのお茶会		—
その他	・誕生日会（毎月1回開催） ・希望食（不定期）・外食 （感染症時期を除く4月～9月） ・お寿司・天ぷら・釜飯行事 （不定期）		※感染症の流行状況を把握しながら適宜開催方法を検討し実施します。

(3) デイサービス行事

月	行事内容
4	春のイベント・花見
5	母の日イベント・端午の節句
6	父の日イベント・室内運動会
7	七夕イベント・作業療法
8	夏のイベント・夏祭り
9	お月見イベント・敬老祝賀会
10	室内運動会・だんじり見学
11	食欲の秋イベント・秋祭り
12	今年もありがとうイベント・クリスマス会
1	正月行事・書き初め
2	春一番イベント・節分祭・
3	ひなまつりイベント・作業療法

※感染症の流行状況を把握しながら適宜開催方法を検討し実施します。

(4) 研修計画

特別養護老人ホーム研修計画

月	研修内容 (テーマ)
4	人権研修 認知症介護基礎研修
5	接遇マナー研修 感染症及び食中毒の発生の及びまん延の防止に関する研修 看取りケア研修 アンガーマネジメント研修
6	身体拘束防止に関する研修 人権研修
7	事故予防研修 コーチング研修
8	褥瘡予防研修
9	認知症介護実践者研修
10	感染症等予防対策研修 認知症介護基礎研修

1 1	感染症の予防及び蔓延の防止について（シュミレーション）
1 2	リスクマネジメントに関する研修
1	身体拘束・高齢者虐待（不適切ケア）に関する研修 コーチング研修
2	看取りケア研修
3	事故予防研修 褥瘡予防研修

#### デイサービス研修計画

月	研修内容（テーマ）
4	コロナ研修
5	認知症及び認知症ケアに関する研修
6	倫理及び法令順守に関する研修
7	事故発生予防又はその再発防止に関する研修
8	事故の発生等緊急時の対応に関する研修
9	感染症及び食中毒の発生の及びまん延の防止に関する研修
1 0	非常災害時の対応に関する研修
1 1	安全な送迎の為の取り組み
1 2	入浴・排泄・食事介助に関する研修
1	接遇マナーに関する研修
2	虐待防止に関する取り組み
3	利用者プライバシーの保護・個人情報保護の取り組み

#### 訪問入浴研修計画

月	研修内容（テーマ）
4	介護サービス従事者の基本姿勢
5	入浴に関する周辺介護技術
6	訪問入浴サービスにおける感染症の予防・コロナ感染対策
7	認知症と認知症ケアの理解
8	障害形態別入浴介護技術
9	入浴のリスクと効果
1 0	感染症の予防及び蔓延の防止について
1 1	訪問入浴サービスの役割と意義
1 2	住宅介護の特徴と基本対応についての理解



1	入浴が身体と心理に与える影響
2	在宅で行われる医療処置の理解
3	苦情・相談への心構えと対応

#### 訪問介護研修計画

月	研修内容（テーマ）
4	介護の基本
5	個人情報保護
6	食中毒の蔓延防止
7	コミュニケーション技法
8	プライバシー保護
9	人権研修
10	事故発生時緊急時対応
11	認知症及び認知症ケア
12	高齢者虐待防止
1	自立支援と重度化防止
2	感染症予防
3	法令順守

#### 居宅介護支援事業所研修計画

月	研修内容（テーマ）
4	地域ケアマネ研修会
5	介護保険事業者集団指導 医療に関する勉強会 地域他法人合同事例検討会
6	認知症に関する研修 難病患者在宅医療支援研修会
7	東大阪市との介護支援専門員の意見交換会 居宅介護支援事業所部会研修 後見制度研修会 対人援助研修会
8	東大阪市認定調査員現任研修 地域医療支援研修会 障害福祉勉強会
9	東大阪市認定調査員新規研修 介護保険住宅改修研修
10	事例検討会 防災研修

1 1	大阪府認定調査員ブロック別現認研修 地域他法人合同事例検討会
1 2	東大阪市神経難病地域ケア研究会研修 東大阪市認定調査員現任研修
1	東大阪市との介護支援専門員の意見交換会 地域他法人合同事例検討会 ハラスメント研修
2	東大阪市介護支援基本研修 障害福祉勉強会
3	東大阪市介護支援専門員現任者向け研修 接遇マナー研修
内部研修（随時）	地域福祉研修・災害研修・人権研修・スーパーバイザー研修 対人援助技術研修・リスクマネジメント研修

#### 地域包括支援センター研修計画

月	研修内容（テーマ）
4	成年後見制度研修
5	認知症研修（認知症サポーター在宅部門職員）
6	アンガーマネジメント研修
7	生活支援コーディネーター現任研修
8	在宅医療推進研修
9	地域包括職種別研修
1 0	認知症研修（認知症サポーター在宅部門職員）
1 1	個人情報研修
1 2	高齢者虐待対応現任者研修
1	支援困難ケース事例検討会
2	大阪府社会貢献事業研修
3	ターミナルケア研修

#### 全体研修（運営会議で実施）

月	研修内容（テーマ）
6	人権研修（法定研修）人権問題に関する総合研修
1 2	虐待研修（法定研修）虐待・不適切ケア等に関する研修

特別養護老人ホーム 布市福寿苑 事業計画

【1】施設方針

- ① 健全で安定的な財務基盤の確立を構築するため、各事業の収益費用状況を分析し、既存のサービスの見直し発展に取り組みます。
- ② サービスの質の向上をするため、人員体制の整備や福祉に求められる職員像として人材育成による職員の資質向上を目指し、職場研修の体系（OJT・Off-JT・SDS）の構築と実施をいたします。
- ③ 新型コロナウイルスを含めた感染症予防対策の策定と災害対策を含めた訓練を他の事業所や地域の方々にも参加していただき、地域の避難場所として安心して頼っていただける拠点づくりをいたします。
- ④ ご利用者処遇の向上や職員の業務負担の軽減のため、機器の導入や仕組みの改善により、業務効率の改善を図ります。
- ⑤ 高齢者や障がい者、児童、子育て世代の方々困ったときに相談しやすい拠点になるため、地域課題を抽出し、地域の方々と共に地域公益活動を実施いたします。

【2】各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	—	69.2%	25.2%	3.4%	2.2%
特別養護老人ホーム	94.4%	64.8%	29.4%	4.9%	1.0%
短期入所生活介護	82.2%	60.1%	23.7%	1.2%	15.0%
通所介護（障害含）	77.0%	66.3%	19.6%	2.6%	11.4%
認知症対応型通所介護	58.0%	83.9%	17.9%	0.1%	△1.8%
グループホーム	99.0%	72.8%	23.4%	3.5%	0.3%

※減価償却費率（減価償却費－国庫補助金等特別積立金取り崩し額）÷収益

		訪問件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
訪問介護	延べ	2883件	120.9%	8.0%	0.9%	△30.0%
	1日	2.8件				

※訪問介護の訪問件数は年間延べ利用者数と職員常勤1の1日あたりの訪問件数

		担当件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
居宅介護	延べ	1848件	92.7%	7.3%	1.3%	△1.2%
	1人1月	38.5件				

介護予防	延べ	3170 件	33.4%	46.3%	2.0%	18.2%
	1 人 1 月	52.8 件				

※担当件数は年間延べ利用者数と職員常勤1の1か月あたりの担当件数

		開催件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
地域包括	教室等	11.8 件	112.8%	13.9%	0.7%	△27.4%

※開催件数は、介護予防教室・家族介護教室・グループ活動支援・地域ケア支援集団・認知症カフェ・認知症サポーター養成講座・生活支援コーディネーター活動（集団）の合計件数

### 【3】拠点各事業の計画

#### （1）特別養護老人ホーム

- ① ペーパーレス化を推進することで業務効率の改善を図り、職員の時間確保に努め、入所者処遇の向上を目指します。
- ② 資格の取得、研修への参加を積極的に進めて職員のスキルアップに努め、加算算定に向けての体制整備、職員教育を実施しご利用者へのサービスの質の向上を目指します。
- ③ 入所待機者の整理を行い空床期間の短縮を図ります。又、短期入所との情報共有等、連携を図り空きベッドを社会資源として最大限活用して頂き、稼働率の安定を図ります。

#### （2）短期入所生活介護

- ① 事業所への営業活動を行い、相談しやすい関係性を構築できるよう努力し、ご利用のない事業所へも訪問を行って認知していただき新規利用者の獲得に努めます。
- ② ご利用者・ご家族のニーズを把握し、選んでいただける施設を目指します。

#### （3）通所介護

- ① 機能訓練指導員等が、ご利用者・ご家族のニーズや目標に合わせ、外部の理学療法士と連携の元、個別機能訓練計画を作成し、利用者様の心身機能向上を目指します。
- ② 職員が自己啓発やOff-JTに積極的に取り組み、リモートなどを活用して、個々のスキルアップを目指し、ご利用者に質の良いサービスを提供します。

#### （4）認知症対応型通所介護

- ① 運営推進会議の場を活用し、地域の実情を把握。地域の方々と協力・信頼関係を築きながら、地域交流の増進や情報発信を行います。

- ② 個別ケアの内容を充実、認知症対応型だからこそ出来るサービスや布市福寿苑としての特色をより向上させ、ご利用者自身が、心からデイサービスに通う事を楽しみにして頂ける事業所を目指します。

#### (5) 訪問介護

- ① ご利用者数40名を目指し稼働率・実績向上に努めていきます。
- ② 職員ひとりひとりの介護技術・サービスの向上を目指しながら近隣の各専門機関との交流・情報収集に努めます。
- ③ ご利用者・ご家族の意見・要望に可能な限りお応えし必要に応じて介護保険適用外サービスを提供し、これからも在宅生活が継続して頂けるように支援していきます。

#### (6) 居宅介護支援事業所

- ① 地域からの相談に迅速に対応できるように、事業所内で現状の情報を共有し、近隣の地域包括支援センターとも連携を図り、地域のニーズに応えられるよう努めます。
- ② 医療機関からの退院や施設からの退所の際に、在宅生活をスムーズに送れるように、地域の医療機関や事業所等との連携を図ります。
- ③ 事業所内で定期的に会議を開催し、支援方法に悩むケースの相談や検討を行います。相談援助のスキルアップのため、外部研修へ参加し、研修で学んだことを事業所内で伝達し自己研鑽に努めます。
- ④ 他法人と合同で勉強会や事例検討会を定期的に行い、地域のケアマネージャーとのつながりも大切にし、地域の社会資源の情報共有に努めます。

#### (7) 地域包括支援センター

- ① 地域包括支援
  - ・ 地域の高齢者の生活における課題を共有し、支援の取り組みを進めていく高齢者生活支援等会議で、第2層生活支援コーディネーターとして取りまとめていき、地域課題の抽出や社会資源の把握、問題解決に向けたネットワークづくりに取り組んでまいります。
  - ・ 認知症についての理解を促進するため、認知症サポーター養成講座を開催します。また地域で認知症高齢者を支える体制づくりに向け、講座受講者を様々な年代、対象者に広げ実施していきます。
  - ・ 東大阪市包括的支援事業実施方針に基づき、地域に出向いて包括的支援事業、地域介護予防推進事業等に取り組んでまいります。

② 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援

- ・これからも要支援1・2、基本チェックリスト事業対象者のご利用者に、介護予防サービスや介護予防・生活支援サービスなど自立支援に向けて必要なサービス調整を行ってまいります。

(8) グループホーム布市真寿庵

- ① 少人数の共同生活の場の特性を生かし、いつまでも自分らしい生活ができるようにアセスメントし、その人のニーズや目標を職員、家族や関係者で共有し個別支援の実施に努めます。
- ② 重度化していく入居者に対していつまでも住み慣れた地域で穏やかに過ごしていただけるよう他職種と連携しながら専門的視点で日々変化する入居者の状態を把握し、入居者一人ひとりがご自身の能力を発揮できるよう支援をいたします。
- ③ 年間研修計画に基づいて職員は研修に参加し、研修等で得た情報は報告・伝達を行い職員全員で共有できるよう努めます。

【4】単年度高額支出（予算額）

① 3階・4階エアコン配管工事	110万円	工事時期	4月
② デイ浴室扉入替工事	20万円	工事時期	4月
③ 心電計	110万円	購入時期	4月
④ 高架水槽 ポンプユニット交換	123万円	購入時期	6月

【5】地域の公益的な取組

- ① 非常災害対策として事業所と地域住民の方の参加が得られるよう連携するため、訓練等を実施します。
- ② 新型コロナの予防対策として延期にしている地域活動を感染状況見て活動を再開し、ご利用者や職員が地域に出向いて地域との交流や支援をいたします。
- ③ 地域交流を深め、校区小学校との行事開催を進めていきます。
- ④ ボランティアグループやご利用者の行事を充実させていきます
- ⑤ 新型コロナ予防対策は続きますが、施設見学や学生ボランティアの受け入れを積極的に行っていきます。
- ⑥ 石切中学校区内で、認知症サポーター養成講座を開催します。
- ⑦ 石切東小学校区内で地域住民と東石切公園花壇の植え替えを行います。（年2回）

【6】別表

(1) 防災訓練

月	種 別	内 容
4	基礎訓練	新規職員を対象とした消火器の取り扱い、消火活動訓練
5	部署別訓練	職員とグループホームご利用者を対象とした避難誘導訓練
6	災害訓練	HUGを用いた災害想定シミュレーション訓練
7	緊急連絡網訓練	夜間並びに日祝日を想定して職員緊急連絡網訓練
8	部分訓練	職員と3階ご利用者を対象とした避難誘導訓練
9	部分訓練	職員と4階ご利用者を対象とした避難誘導訓練
10	総合訓練	職員とご利用者を対象とした通報、消火、避難訓練
11	総合訓練	消防署立会いによる職員とご利用者を対象とした通報、消火、避難訓練
12	緊急連絡網訓練	夜間並びに日祝日を想定して職員緊急連絡網訓練
1	予備訓練	防災の心得（ビデオ鑑賞）
2	災害訓練	大規模地震を想定したBCP訓練
3	部分訓練	職員と5階ご利用者を対象とした避難誘導訓練

(2) 施設行事

月	行事内容
4	日新高校桜まつり
5	春の外出・母の日・DVD鑑賞会
6	春の外出・父の日
7	花火大会
8	夏祭り
9	敬老祝賀会
10	秋の外出・ハロウィン
11	ファミリー祭り
12	クリスマス会・ゆず湯
1	元旦祝賀会（おせち）・初詣
2	節分・バレンタイン
3	ひな祭り
毎月開催	・誕生日会・ホーム喫茶・ローソン訪問販売 ・誕生日会食・各種レクリエーション

デイサービス行事

月	行事内容
4	花見・お楽しみ会・季節食
5	買い物ツアー・お楽しみ会・季節食
6	手作りおやつ・お楽しみ会・季節食
7	ビアガーデン・お楽しみ会・季節食
8	夏祭り・お楽しみ会・季節食
9	敬老会・お楽しみ会・季節食
10	石切参道買い物ツアー・お楽しみ会・季節食
11	焼き芋・お楽しみ会・季節食
12	クリスマス会・お楽しみ会・季節食
1	新年会・お楽しみ会・季節食
2	節分行事・お楽しみ会・季節食
3	ひな祭り行事・お楽しみ会・季節食



(3) 研修計画

特別養護老人ホーム布市福寿苑

月	研修内容 (テーマ)	
4	接遇マナー研修、新人職員研修	(Off-JT)
	感染症勉強会	(Off-JT)
5	特定給食研修、認知症勉強会	(Off-JT)
	接遇マナー研修会	(Off-JT)
6	集団指導、認知症介護リーダー研修	(Off-JT)
	リスクマネジメント研修、災害研修	(Off-JT)
	感染症講習会、食中毒予防講習会	(Off-JT)
	感染症勉強会、人権研修	(Off-JT)
7	身体拘束勉強会	(Off-JT)
	認知症介護リーダー研修、人権研修	(Off-JT)
8	認知症勉強会、事故対策委員会勉強会	(Off-JT)
	認知症介護リーダー研修	(Off-JT)
9	感染症勉強会、褥瘡予防勉強会	(Off-JT)
	リスクマネジメント研修	(Off-JT)
10	認知症勉強会、人権研修	(Off-JT)
	栄養士研修、特定給食研修	(Off-JT)
11	感染症勉強会、接遇マナー研修	(Off-JT)
	人権研修、看取り研修会	(Off-JT)
12	認知症勉強会	(Off-JT)
	看取り研修会、人権研修	(Off-JT)
1	感染症勉強会	(Off-JT)
	認知症勉強会、事故対策委員会勉強会	(Off-JT)
2	高齢者虐待勉強会・身体拘束勉強会	(Off-JT)
	防災研修、感染症勉強会	(Off-JT)
3	推進研修	(Off-JT)
	認知症勉強会、人権研修	(Off-JT)
随時	認知症基礎研修	(Off-JT)

デイサービスセンター

月	研修内容 (テーマ)	
4	安全運転講習	(Off-JT)
5	介護技術研修	(Off-JT)
6	非常災害の対応	(Off-JT)
7	人権・高齢者虐待防止に関する研修	(Off-JT)
8	緊急時対応	(Off-JT)
9	事故発生時の対応・リスクマネジメント	(Off-JT)
10	身体拘束排除のための取組みに関する研修	(Off-JT)
11	介護予防・機能訓練に関する研修 (歩行等)	(Off-JT)
12	倫理・法令遵守・接遇マナー (サービス向上)	(Off-JT)
1	食中毒・感染症の予防と対策	(Off-JT)
2	認知症に関する研修	(Off-JT)
3	プライバシー保護について・権利擁護 (成年後見)	(Off-JT)

布市福寿苑ヘルパーステーション

月	研修内容 (テーマ)	
4	接遇・マナー研修	(Off-JT)
5	食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	(Off-JT)
6	熱中症の対策・対応について研修	(Off-JT)
7	認知症及び認知症ケア研修	(Off-JT)
8	緊急時の対応に関する研修	(Off-JT)
9	プライバシー保護・個人情報研修	(Off-JT)
10	事故発生・再発防止に関する研修	(Off-JT)
11	感染症予防研修	(Off-JT)
12	人権研修 (高齢者虐待含む)	(Off-JT)
1	腰痛予防研修	(Off-JT)
2	コミュニケーション技術研修	(Off-JT)
3	倫理及び法令遵守に関する研修	(Off-JT)

グループホーム布市真寿庵

月	研修内容（テーマ）	
4	身体拘束等の適正化の為の研修	(Off- J T)
5	感染症の予防及びまん延防止のための研修	(Off- J T)
6	事故防止・リスクマネジメント研修	(Off- J T)
7	認知症に関する研修	(Off- J T)
8	高齢者に関する研修	(Off- J T)
9	業務継続計画についての研修	(Off- J T)
10	身体拘束等の適正化のための研修	(Off- J T)
11	苦情処理に関する研修	(Off- J T)
12	認知症に関する研修	(Off- J T)
1	感染症の予防及びまん延防止のための研修	(Off- J T)
2	高齢者虐待防止研修	(Off- J T)
3	業務継続計画についての研修	(Off- J T)

【1】施設方針

- ① ご利用者やご家族の声に真摯に向き合い、相手の気持ちに寄り添うことが出来る施設を築きます。
- ② 人権とニーズを重視した施設サービス計画に基づくケアを推進するとともに自立支援介護を実践し、要介護状態の軽減または悪化を防止します。
- ③ 透明性のある施設運営を行い、ご利用者の生活、安全、健康を守り、ご利用者に喜ばれるサービスを展開します。
- ④ 職場環境作り・職員教育・情報発信を行い、人材の確保と定着を図り、安定した介護サービスを展開します。

【2】各事業の数値目標

拠点	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
介護老人保健施設	93%	60%	25.7%	10.1%	4.2%

※減価償却費率は（減価償却費－国庫補助金等特別積立金取り崩し額）÷収益

【3】拠点各事業の計画

(1) 介護老人保健施設

- ① 在宅復帰を推進していくにあたり、他職種連携を強化する体制を整え、共同してご利用者の在宅生活を想像した取組みを行います。
- ② リハビリテーションや日常生活上の運動機会、レクリエーションのバリエーション増加を行い、ご利用者の健康増進・身体機能と動作能力向上を図ります。
- ③ 幸福を得ることができるよう、ご利用者やご家族の思いを実現できる見取りケアを実践します。
- ④ 職員教育と職場環境の評価、改善を行い、ご利用者やご家族等から必要としていただける職員の育成と離職防止を図ります。
- ⑤ 災害時、ご利用者へ早期に介護サービスを提供することが出来るように事業継続計画を整備し、災害を想定した訓練を実施します。  
ライフラインの停止、地域住民の避難場所となることを想定し、災害時に必要とされる備品を検討の上、常備します。

(2) 短期入所療養介護

- ① 枚岡の里短期入所療養介護を認知していただけるように、事業所へのPRを強化し、前年度より新規利用者数の増加を目標にします。
- ② 緊急を要する相談には、迅速に検討、対応、準備を行い、ご利用者に安全で安心した生活の場を提供します。

【4】単年度高額支出（予算額）

利用者処遇の向上・非常災害時の対応・整備を目的に下記内容を計画いたします。

- ① 1階共用便所排水配管更新工事 660,000円
- ② 非常災害時防災備品 470,000円

【5】地域の公益的な取組

- ① 社会的孤立を防ぎ、住民が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、地域包括ケアシステムの担い手の一つとして情報発信と連携に努めます。
- ② 自治体や地域包括支援センター等が主催する介護体験や認知症サポーター養成講座に参加・協力・講師派遣を行い、学生や未就学児と共に高齢者が住みやすいまちづくりに努めます。
- ③ サロン「憩いの里スマイル」の実施やボランティアの活動について、方法の見直し、検討を行い、高齢者の健康増進に寄与します。
- ⑤ 地域の活動や催し、非常災害時に活用していただけるように、食堂スペースの開放や備品の提供、貸し出しを行います。

【6】別表

(1) 防災訓練

防災訓練・災害時事業継続計画に基づく防災訓練を年2回以上開催します。

月	種別	内容
4	消火訓練	職員を対象に防火機器・器具の取扱い方法、消火活動の訓練
7	日中訓練	日中の火災を想定し、自身で避難が出来ないご入所者を中心とした避難誘導訓練
10	災害訓練	職員を対象に地震・台風・土砂等、自然災害を想定した避難誘導、通報連絡訓練
12	夜間訓練	夜間の火災を想定し、自身で避難が出来ないご入所者を中心とした避難誘導訓練
2	合同訓練	枚岡の里・福寿苑・ケアハウスひらおか3施設合同による通報及び避難誘導訓練（消防署立会い）

## (2) 施設行事

月	行事内容
4	お花見会
5	端午の節句
6	食事行事（たこ焼き等）
7	七夕祭り
8	夏祭り・おやつ行事（かき氷）
9	敬老祝賀会
10	ハロウィンパーティー・枚岡秋郷祭
11	おやつ行事（焼き芋）
12	クリスマス会
1	元旦祭
2	節分祭
3	雛祭り
毎月開催	誕生日会・里喫茶・音楽療法・書道・フラメンコ教室・歌謡クラブ 各種レクリエーション

## (3) 研修計画

月	研修内容
4	人権・高齢者虐待・身体拘束廃止研修 介護保険と在宅療養支援機能研修
5	食中毒予防研修
6	認知症キャラバンメイト研修
7	倫理及び法令遵守研修
8	接遇・対人援助技術研修
9	安全対策リスクマネジメント研修
10	感染症対策研修 人権・高齢者虐待・身体拘束廃止研修
11	感染症対策研修 介護技術研修会
12	褥瘡予防・栄養に関する研修
1	認知症ケア研修
2	非常災害対応研修
3	安全対策リスクマネジメント研修
入職時	新入職員感染症対策研修 新入職員身体拘束廃止研修

## 介護老人保健施設 長田の里 事業計画

### 【1】施設方針

- ① 職員一人一人が、社会福祉法人としての責務を自覚し、コンプライアンスを常に意識をした行動をとります。それと共に業務効率の見直しによる労働環境等の改善、加算取得による質の高いサービスの提供により、透明性、公益性が高い安定した経営を行ってまいります。
- ② ご利用者・ご家族の意思及び人権を尊重し「利用者本位・質の高いサービス」及び「真のニーズにあったサービス」を提供し続けていけるように職員の意識改革、OJT・OFF-JT・SDSを通して人材育成に取り組んでまいります。
- ③ 包括ケアの実現に向けて、介護と医療の専門性を高め、多種多様な働きが出来る老健として、各拠点と連携し、質が高く柔軟なサービスを提案・提供を行えるように、介護老人保健施設としての機能をより充実したものにしていきます。
- ④ 多種多様な老健の機能について地域住民や関連機関へのPR等を行うとともに、地域住民との結びつきを大切にし、関連機関と連携し、地域と一体となったケアに努めます。
- ⑤ 今後、想定しうる感染症の拡大、災害発生時に備え、BCP（事業継続計画）を策定します。また定期的な訓練の実施、日頃からの対策を実施することでご利用者・地域に必要なサービスを安定的・継続的に提供できるように努めてまいります。

### 【2】各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
長田の里（拠点）	—	64.4%	24.5%	4.3%	6.8%
介護老人保健施設	95%	63.0%	27.3%	4.9%	4.8%
通所リハビリテーション	75%	67.4%	17.7%	2.6%	12.3%

		担当件数	人件比率	経費率	償却費率	利益率
居宅介護	延べ	2312 件	75.4%	3.2%	0.2%	21.2%
	1人1月	39.1 件				

### 【3】拠点各事業の計画

#### （1）介護老人保健施設

在宅復帰強化型施設への移行を見据えた取り組みをさらに強化し、多種多様

なサービスを提供出来、地域に密着した施設として活動致します。

- ① 介護老人保健施設の機能と特色を活かし、在宅復帰に向けての支援を強化します（在宅復帰率 20%）
  - ・入所される場合には入所前後に自宅へ訪問し、ご利用者及び家族の希望・ご利用者の能力を把握し、在宅復帰に係る目標を掲げ、多職種協同のもと施設サービス計画を策定してまいります。
  - ・日常生活場面を想定したリハビリテーションの実施及び定期的に評価を行い、多職種連携のもと、在宅復帰支援に努めてまいります。
  - ・退所後も自宅へと訪問し、住み慣れた地域で生活が継続できるよう療養上の指導及び居宅介護支援事業所との連携を図ってまいります。
- ② 介護老人保健施設として安定した経営を継続していくために各種活動を実施してまいります。
  - ・ご利用者の状態像を把握し、ご利用者の意向を基盤とした退所先を選定し、ベッド回転率 5%を維持します。
  - ・定期的に居宅介護支援事業所や医療機関等を訪問し情報収集及び営業活動を実施致します。
- ③ ご利用者の健康管理に努めます。
  - ・ご利用者の状態管理を行い、異常の早期発見、早期治療に努め、入院者の減少に努めてまいります
  - ・良好な健康状態を維持するために、職員の意識向上を目指し、研修・指導を実施してまいります。
  - ・常に新しい情報を取り入れるなどして感染症対策に係る評価及び改善を図り、施設内の感染症予防に努めてまいります。
- ④ 地域福祉の拠点となるよう包括的なサービスの提供に努めます。
  - ・併設の居宅介護支援事業所・通所リハビリテーションとの連携を密に情報を共有し、短期入所療養介護・入所サービス利用の必要性が生じた場合には円滑に受け入れを行ってまいります。
- ⑤ ご利用者に安全安心に施設生活を過ごしていただけるように生活環境を整えてまいります。
  - ・インフォーマルな資源を活用することで新たな行事を企画し、利用者満足度の向上を図ってまいります。
  - ・職員による定期的な行事を開催し、利用者の満足度の向上を目指します。
- ⑥ 安全で快適な食事の提供に努めます。
  - ・衛生管理の徹底を図り、異物混入ゼロを目標とします。
  - ・季節の行事などの際は季節を感じさせる旬のものを取り入れて変化に富んだ食事サービスを提供し、ご利用者に食生活を楽しんでいただけるよう努めて



まいります。

- ・快適な食生活を送れるよう生活リズムに適した時間に、最適な温度・形態で提供できるようにします。
  - ・定期的に給食委員会を開催し、食事内容を検討し、よりよい食事を提供できるようにします。
- ⑦ 施設職員の職務能力の向上と意識改革を行い、利用者の意向に寄り添ったサービスを提供します。
- ・職員研修については、一月に1回実施致します。また、職員研修の在り方について見直し、多くの職員が考動出来るような研修を企画いたします。
  - ・ご利用者本位のサービス提供が行えるように各種委員会の在り方についても見直しを図ってまいります。
  - ・感染症拡大や災害を想定したBCP訓練を年1回実施し、ご利用者、職員の安全確保及びサービス機能維持と継続に努めてまいります。
  - ・ICT環境を整え、リモートでの研修や会議に参加し、職員の能力向上に努めます。
- ⑧ ご家族とご利用者の繋がりを大切にします。
- ・ご家族宛にご利用者から手紙を送らせていただきます。
  - ・行事等、定期的に写真をご家族に送付させていただきます。
  - ・広報委員会からブログの作成を定期的の実施致します。
  - ・訓練内容等、ご利用者の動画を観ていただく機会を提供致します。

## (2) 通所リハビリテーション

- ① 心身機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために行われる理学療法・作業療法、その他必要なリハビリを提供し介護・看護・療法士など多職種でご利用者の生活を支援していきます。
- ・ご利用者の生活目標に応じたリハビリ・機能訓練プログラムを多職種が協働して考え、心身機能の維持回復を図ります。
  - ・ご利用者の残存機能を最大限に活かした生活リハビリが実施できるようにプログラムを検討して実施していきます。
  - ・デイケアでのご様子やご利用者の能力の報告や自宅内でのより良い生活の提案を行うことにより、ご家族やケアマネージャーとの関係性を強め、ご利用者が安心した環境にて在宅生活を継続できるように支援します。
  - ・リハビリマネジメント加算算定の体制を整えて算定を行います
  - ・生活リハビリとしてADL維持強化訓練を考え、ご利用者のニーズや目標に合わせて実施していきます。

- ② 職員のスキルアップ及び人材育成に取り組みます。
  - ・ご利用者の残存機能を見極め、どうすれば生活機能向上に繋げられるかを職員一人一人が考えられる力を身に付けられるように、介護・看護・リハビリが合同で行う勉強会を3ヶ月に1回実施します。
  - ・職員の希望する研修をデイ会議にて実施していきます。
  - ・定期的な個人面談を通して目標管理を実施し、OJTの推進、強化に努めます。
- ③ 業務改善を積極的に行い、働きやすい職場環境作り・残業時間の減少に取り組みます。
  - ・月1回業務内容の見直しを行い作業効率など工夫できる事を検討し残業を減らします。
- ④ 通所リハビリテーションを安定した経営を継続していくために各種活動を実施してまいります。
  - ・定期的に居宅介護支援事業所を訪問し情報収集及び営業活動を実施します。
  - ・事業での取り組みや様子等の外部発信を積極的に行っていくために月1回のブログ投稿を行います。

### (3) 居宅介護支援事業所

- ① ご利用者、ご家族に本当に喜ばれ、価値のある働き方を実施します。
  - ・重大インシデントに類する苦情については撲滅を目指します。定期的な面談と振り返りを行います。上半期、下半期。週1回の定例会議での振り返りを行います。
  - ・個別研修での取り組み。課題取り組みを評価していきます。
  - ・フレックス勤務の在り方を見直し、引き続きテレワークにも取り組み、多様な働き方に取り組みます。
  - ・担当者不在時における対応を高めます。(記録の整備、毎週の定例会の中での情報共有化の徹底)
- ② 地域に信頼される事業所を目指し、諸機関と連携を深めていきます。
  - ・医療機関及び老人保健施設との入退院時等含め連携に努めます。
  - ・併設老人保健施設、デイケアとの迅速・密接な連携を図り居宅支援事業所との相談体制を整えていきます。
  - ・市内地域包括への継続的な営業活動を実施します。
  - ・当事業所の特色の発信、顔の見える関係づくりの取り組みを行います。
  - ・地域包括等が主催する研修会等へも参加します。
  - ・近隣の他法人との居宅事業所との合同の事例検討会の開催致します。
  - ・介護支援専門員実務研修の受け入れを行います。

#### 【4】単年度高額支出（予算額）

利用者処遇の向上・業務効率の改善・職員の職場環境整備を目的に下記内容を計画いたします。

- ① 心電計：50万円
- ② 電話交換機設備更新：350万円

#### 【5】地域の公益的な取組

- ① 地域清掃への参加をします。  
子供たちが安全に気持ち良く公園で遊べるように、年6から8回公園清掃に参加します。
- ② 保育園・子供会との交流を図ります。  
地域の世代間交流の一環として、地域の保育園・子供会の皆さんを施設行事に招待いたします。
- ③ 認知症サポーター養成講座を開催いたします。  
認知症になっても安心して暮らしていける地域作りをめざして、地域住民を対象とした認知症サポーター養成講座を開催いたします。
- ④ 地域の社会資源としての役割を担っていきます。  
自施設または地域に出向き、上映会、認知症予防・腰痛予防の講習会などを企画・実施し、地域との交流を深めてまいります。
- ⑤ 感染症拡大下にあっても、HPなどで地域にとって有益な情報の発信を行ってまいります。

#### 【6】研修・行事年間予定

介護老人保健施設：年間行事予定

月	行事名
4	買い物・誕生日会
5	端午の節句・買い物・誕生日会
6	バイキング・喫茶・買い物・誕生日会
7	七夕祭り・買い物・誕生日会
8	夏祭り・買い物・誕生日会
9	敬老祝賀会・保育園児訪問・買い物・誕生日会
10	地車訪問・買い物・誕生日
11	バイキング・買い物・誕生日
12	長田東子供会クリスマス訪問・クリスマス会・買い物・誕生日会

1	元旦祭・買い物・鍋の日・誕生日会
2	節分・買い物・誕生日会
3	スイーツバイキング・買い物・誕生日会

通所リハビリテーション：年間行事予定

月	行事名
4	お花見・誕生日会
5	端午の節句・誕生日会
6	おやつ行事・誕生日会
7	七夕祭・誕生日会
8	夏祭り・誕生日会
9	敬老祝賀会・誕生日会
10	スポーツ大会・誕生日会
11	焼き芋大会・誕生日会
12	クリスマス会・誕生日会
1	初詣・誕生日会
2	節分・鍋行事・誕生日会
3	ひな祭り・誕生日会

年間防災訓練計画

月	種 別	内 容
6	消火器訓練	水消火器を使用して、火災発見から消火活動までの一連の流れを習得する訓練
10	総合訓練	夜間を想定した通報訓練・消化訓練・避難誘導訓練（消防署立会い）
12	地震訓練	大地震を想定して、利用者の安全を確保するための訓練
2	緊急連絡訓練	緊急時、全職員への通報訓練及び緊急動員を要請する訓練

年間研修計画

月	内部研修	外部研修
4	新人研修	
5	褥瘡予防研修	
6	人権・接遇マナー研修	食中毒予防対策講習会
7	食中毒対策	
8	災害時の対応	
9	事故防止・再発防止・緊急対応	看護実務者研修（身体拘束廃止）
10	倫理・法令順守	大阪府認知症介護基礎研修 リスクマネジメント研修会 褥瘡排泄ケア研修会
11	認知症ケア・個人情報保護	認知症介護実践者研修 感染症予防対策研修 高齢者施設結核基礎知識講習会 全国老人保健施設協会実施研修
12	感染症予防・腰痛予防	介護リーダーに必要な現場の問題 解決力アップセミナー
1	褥瘡予防研修	
2	身体拘束・高齢者虐待防止	大阪府キャラバンメイト養成講座
3	事故防止・再発防止・緊急対応	腰痛予防対策研修会

## ケアハウスひらおか 事業計画

### 【1】施設方針

- ① 安心・信頼・安全を最優先に考え、ご入居者のみなさまが心安らく生活支援に取り組んでまいります。
- ② 職員一人ひとりが質の高いサービスの提供とコンプライアンスの意識を持ち行動ができる人材育成を行います。
- ③ 地域福祉の支援拠点として、法人の居宅型施設と福祉施設を併せ持つことを活かし、地域のニーズに寄り添う施設づくりに取り組んでまいります。
- ④ 感染症に関する新しい情報を得て迅速に対策を講じ、ご入居者・外部事業者・職員の感染を防いでまいります。
- ⑤ 災害時、対策委員の配置を行い、事業継続計画の策定を行って、ご入居者に安心・安全な生活の場所の提供を行ってまいります。

### 【2】各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
ケアハウス	95%	40.6%	63.4%	8.4%	△12.4%

### 【3】拠点各事業の計画

- ① ご入居者の健康管理  
定期の健康管理と在宅サービス利用事業者との情報共有を行い、身体状況変調の早期発見と受診依頼を行い、自立生活継続の支援に努めてまいります。
- ② 広報活動の強化  
毎月の行事、施設情報、食だよりなどブログ作成を実施いたします。
- ③ 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、地域医療機関への営業活動の範囲拡張を行ってまいります。
- ④ 施設の老朽化に伴い、改修計画の立案を行い、ご入居者に安心・安全な生活の支援を行います。

### 【4】単年度高額支出（予算額）

- ① 食堂天井配水管改修工事 130万円
- ② 1階フロア、2階～4階廊下壁紙張替工事 300万円

### 【5】地域の公益的な取組

- ① 小地域ネットワーク会参加
- ② 自治会会合への参加を行い、情報の共有

③ 地域住民・小地域ネットワーク活動への施設開放

④ 地域活動への参加

地域の老人会と交流会の開催を行い、地域の拠点施設となるよう取り組んでまいります。

## 【6】別表

### (1) 防災訓練計画

月	訓練種類	訓練内容
6	総合訓練	昼間の時間帯を想定して、通報、消火、避難訓練・非常用放送設備などの確認及び使用方法を学ぶ避難訓練
9	予防訓練	防災の心得（ビデオ鑑賞）防災監視盤・非常通報装置の確認
1 2	総合訓練	消防署立会いによる夜間ならびに職員が少ない場合を想定して、通報、消火、避難訓練
3	通報訓練	緊急連絡網を使用した模擬通報訓練

### (2) 行事計画

月	行事内容
4	花見会（ドライブ）・誕生日会
5	端午の節句（菖蒲湯）・おやつ会・誕生日会・ひらおか健康祭り
6	おやつ会・誕生日会
7	七夕祭り・おやつ会・誕生日会
8	夏祭り（4施設合同）・おやつ会・誕生日会
9	敬老祝賀会・勇勢師子王太鼓訪問・誕生日会
1 0	枚岡神社秋郷祭・太鼓台訪問（地域住民慰問）・誕生日会
1 1	鍋の会・おやつ会・誕生日会
1 2	クリスマス会・冬至（ゆず湯）・おやつ会・誕生日会
1	元旦祝賀会・七草がゆ・鏡開き・鍋の会・誕生日会
2	節分祭（豆まき）・鍋の会・おやつ会・誕生日会
3	ひな祭り・誕生日会・鍋の会

- ・地域自治会高齢者と入居者との茶話会：月 2 回
- ・ピアノボランティア：月 1 回
- ・アコーディオンボランティア：月 1 回
- ・コーラスクラブスマレの会ボランティア：年 4 回

(3) 研修計画

月	研修内容
4	法人理念研修・身体拘束対策検討委員会
5	リスクマネジメントに関する研修
6	感染症・食中毒予防対策研修
7	事故対策研修・身体拘束対策検討委員会
8	人権研修
9	サービスマナー研修
10	リスクマネジメントに関する研修・身体拘束対策検討委員会
11	感染症対策研修
12	メンタルヘルス研修・個人情報保護研修
1	身体拘束対策検討委員会
2	感染症対策研修
3	高齢者虐待防止研修



## ケアハウス喜里川 事業計画

### 【1】施設方針

- ① 地域になくってはならない施設へ
- ② 拠点単独での黒字化を目指し、安定した経営の推進
- ③ 地域貢献活動を推進し、社会福祉法人の責務を果たす。
- ④ 職員一人一人の創造力を育み、新たな事業展開を目指す

### 【2】各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	—	48.1%	45.9%	7.1%	△1.1%
ケアハウス	93%	39.7%	55.1%	6%	△0.8%
通所介護（地域密着）	68%	79.9%	20.2%	1.1%	△1.2%

### 【3】拠点各事業の計画

#### （1）ケアハウス

- ① 稼働率目標の達成を目指します。
  - ・令和3年度の課題となっていた入退去時のタイムラグ解消については、継続している状況であることから、退去検討事象発生以降の手順を見直し、速やかな新規入居者の受け入れ準備完了を目指していきます。
  - ・これまでも課題となっていた入居待機者の問題に関しては、現在も解消には至っておらず、待機者へのアプローチ方法等も含めた手順の見直しを進めると共に、病院や居宅介護事業所等への本格的な営業活動の実施を行い、待機者確保を進める。
- ② 施設と入居者及びその家族との関係強化に努めます。
  - ・一昨年度に引き続き、新型コロナの影響から、ご入居者との意見交換を行う場の設定自体が困難であったが、来年度においては、密ができない実施方法の検討を進め、年間複数回の実施を目指します。
  - ・入居者の高齢化に伴う、ADL・認知機能の低下や身元保証人の高齢化等、保証人となっている家族との連絡機会は確実に増加し、より緊密な関係性の強化は必須な状況となりつつあります。一昨年度、昨年度と新型コロナの蔓延もあり、入居者と家族、施設と入居者家族の関係性向上を向上させる対応策を策定し、実行に移していきます。
- ③ 地域のコミュニティーを目指します。
  - ・施設方針にも掲げていますが、地域になくってはならない事業所を目指すうえで、これまで以上に、地域住民に当施設のことをより知ってもらう必要があ

ると考えています。

そのため、当施設から地域住民参加型の様々な取り組みを発信し、交流を深めながら、何かあったときに気軽に駆け込むことができる場所になれることを目指していきます。

## (2) 通所介護（地域密着型）

### ① 稼働率の向上を図ります。

- ・前年度以降、サービスの利用中止が相次ぎ、非常に厳しい経営状況となっています。

これまでと同じようなサービス提供内容を繰り返すのではなく、根本的にサービス内容を見直すとともに、見直した内容を、一昨年度、昨年度とあまり実施できていなかった営業活動を通じてPRし、新たな事業所の魅力を発信して新規利用者の獲得を目指していきます。

- ・サービス内容の見直しに関しては、現在の高齢者を取り巻く介護サービスの流れ等を勘案し、これまでのアクティビティ中心の考え方から、機能訓練重視の考え方へシフトチェンジしていきます。

## (3) 短時間通所型サービス（緩和型総合事業サービス）

利用者獲得を目指します。

- ・サービス立ち上げ時からの課題として利用者数が伸び悩んでいる現状があるこの改善を図っていきます。具体的には、営業活動を通じて事業所の情報発信を進めるとともに、もともと機能訓練に力を入れている事業ではあるが、現ご利用者以外の方にも興味を持ってもらえるようなサービスを検討し、新たなPR材料として、営業活動に活かしていきます。

## 【4】単年度高額支出（予算額）

なし

## 【5】地域の公益的な取組

- ① 地域住民への拠点設備の開放
- ② 喜里川ぼかぼか食堂の開設
- ③ 生活困窮者自立支援法に基づく就労支援事業への参画継続
- ④ 低所得者への法人減免措置の実施継続
- ⑤ 地域を担当する地域包括支援センターが実施する様々な取り組みへの協力

【6】別表  
行事計画

ケアハウス

月	行事名
4	花見ドライブ・誕生日会・脳トレ・機能訓練・カラオケ
5	外出行事・誕生日会・脳トレ・機能訓練・カラオケ
6	買い物ツアー・誕生日会・脳トレ・機能訓練・カラオケ
7	夕涼み会・誕生日会・脳トレ・機能訓練・カラオケ
8	4施設合同夏祭り・誕生日会・脳トレ・機能訓練・カラオケ
9	敬老祝賀会・誕生日会・脳トレ・機能訓練・カラオケ
10	外出行事・誕生日会・脳トレ・機能訓練・カラオケ
11	文化祭・おやつレク・誕生日会・脳トレ・機能訓練・カラオケ
12	クリスマス会・誕生日会・脳トレ・機能訓練・カラオケ
1	元旦祭・鏡割り・誕生日会・脳トレ・機能訓練・カラオケ
2	節分・鍋の会・誕生日会・脳トレ・機能訓練・カラオケ
3	選択食・誕生日会・脳トレ・機能訓練・カラオケ

地域密着型通所介護

月	行事名
4	花見ドライブ・誕生日会
5	石切参拝（参道散策）・誕生日会
6	買い物ツアー・誕生日会
7	夏祭り・誕生日会
8	ボーリング大会・誕生日会
9	敬老祝賀会・誕生日会
10	買い物ツアー・誕生日会
11	文化祭・誕生日会
12	忘年会・誕生日会
1	新春ボーリング大会・誕生日会
2	節分・焼き芋大会・誕生日会
3	ひな祭り・誕生日会

年間研修計画

ケアハウス

月	研修名
4	地域包括ケアシステム勉強会
5	身体拘束廃止研修
6	食中毒対策研修
7	感染症対策研修
8	介護保険法勉強会
9	事故対策研修
10	高齢者虐待防止研修
11	感染症対策研修
12	成年後見制度勉強会
1	サービスマナー研修
2	介護技術勉強会
3	事故対策研修

地域密着型通所介護

月	研修名
4	介護保険法改定内容勉強会
5	機能訓練勉強会
6	食中毒対策研修
7	サービスマナー研修
8	事故対策研修
9	身体拘束廃止研修
10	感染症対策研修
11	機能訓練勉強会
12	苦情対応研修
1	事故対策研修
2	サービスマナー研修
3	高齢者虐待防止研修

防災訓練計画

月	種 別	内 容
5	昼間想定避難訓練	ケアハウスとデイサービスが合同で行う 昼間の火災発生を想定した避難訓練
8	夜間想定避難訓練	ケアハウス単独で夜間を想定した通報訓 練・避難誘導訓練
11	地震対応訓練	大地震を想定して、利用者の安全を確保 するための訓練
2	夜間想定避難訓練	ケアハウス単独で夜間を想定した通報、 避難誘導訓練（消防署立ち合い）

小規模多機能ホーム ごりょうの家 事業計画

【1】 施設方針

- ① 地域密着型サービスの特色である、利用者一人一人きめ細やかなサービスを行なうことでそれぞれの役割を持って、家庭的な環境の下で日常生活をおくることができるようにします。
- ② コロナ禍でも、できるところから地域支援活動には取り組み、地域の公益的な取組を推進いたします。
- ③ 人材育成については、オンライン研修も積極的に取り入れ、専門職としての資質の向上、人間力の向上に努めます。
- ④ 新規獲得、組入れなどを積極的に受け入れるとともに、シフトを柔軟かつ横断的な調整を図ることで適切な人員配置を行なうことで収支の改善を図り、拠点での黒字化を目指します。

【2】 各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	75.0%	85.0%	15.7%	15.2%	△15.9%
小規模多機能型居宅介護	79.0%	84.1%	16.4%	15.0%	△15.8%
認知症対応型通所介護	71.0%	86.4%	13.0%	15.3%	△16.0%

※減価償却費率は（減価償却費－国庫補助金等特別積立金取り崩し額）÷収益

【3】 拠点各事業の計画

(1) 小規模多機能型居宅介護

- ① 早朝や夕食後などニーズの高い時間帯への受け入れをPRし、それに合わせた人員体制を整えると共に、要介護3以上の利用者の獲得を特に目指します。そのために研修も積極的に実施するなどの人材育成も推進していきます。
- ② 収支のバランスを注視し、適正な人員配置に努めます。
- ③ 管理者と介護支援専門員の兼務を解消し、これまで以上に受け入れ窓口を広げます。
- ④ 「訪問」ニーズにも積極的に受け入れます。

(2) 認知症対応型通所介護

- ① 認知症ケア理念「笑顔とチームワークを大切に。あたたかいサービスを」を指針として、人材育成を実施し、職員の資質や能力を向上させ、サービスの質を上げていきます。
- ② ご利用者だけでなくご家族も一緒に支えていく為に、新型コロナウイルス

が終息に向かいましたら「家族会」を6ヶ月に1回程度開催し、認知症の悩みなどを共有すると共に、ご家族と職員の信頼関係を築き相談しやすい環境を整えていきます。

- ③ 法人内の理学療法士と連携を図り、生活機能向上連携加算（I）の取得を目指します。

#### （4）共通項目

- ① コロナ禍は続くと思われるので、情報には常にアンテナを張り、感染症対策をしっかり行いながら、今後も事業を実施していきます。
- ③ 職員の人材育成を計画的に行い、正職員だけでなく、パートタイム職員に対しても時間を作っていけるよう勤務体制も整えていきます。
- ④ 不要な事務作業の廃止、パソコン使用やリモート会議など、これまで以上にICT化を進め、業務効率化を図ります。

#### 【4】単年度高額支出（予算額）

・洗濯機・乾燥機 計15万円

#### 【5】地域の公益的な取組

- （1）昨年度はほとんどできなかった地域貢献事業（認知症カフェや、御領サロン、元気でまっせ体操、認知症サポーター養成講座、地域交流スペースの活用など）を、できるところを模索し、少しでも実施できるように努めていきます。
- （2）地域清掃を月一回行い、地域美化運動に努めます。
- （3）医療・介護連携推進事業、大東市ケアマネジャー研究会、大東市地域ケア会議などに参加し、地域の関連機関とのネットワークを構築するとともに、ごりょうの家の各事業所が連携しながら地域の行事などに参加、参画し地域福祉に貢献します。

【6】別表

(1) 防災訓練計画

月	種別	内 容
4	部分訓練	職員と2階利用者を対象とした避難訓練
7	基礎訓練	職員と利用者を対象とした防災機械器具の取扱い方法及び 消化活動の研修
10	総合訓練	消防立会いによる職員と利用者を対象とした通報・消火・ 避難訓練
1	夜間訓練	夜間並びに日祝日を想定しての夜勤者と当直者による職員 への通報訓練、消火訓練、避難訓練

※年2回以上は通報訓練、消火訓練、避難訓練を行う

(2) 行事計画

月	内 容
4	花見ドライブ
5	昼食レクリエーション
6	おやつバイキング
7	そうめん流し
8	夏祭り
9	敬老祝賀会（家人参加型）
10	室内運動会
11	作品展
12	クリスマス会
1	初詣・鍋の会
2	節分祭
3	ひな祭り
該当月	お誕生会

※ペット療法、演奏会、保育園慰問なども実施していきます。



(3) 研修計画

月	内 容
4	感染症対策について
5	食中毒について
6	認知症についての知識を深める
7	痰吸引について
8	身体拘束の排除のために取り組みに関する研修
9	認知症ケアについて
10	高齢者施設において知っておきたい感染症
11	認知症介護実践者研修
12	食事介助について
1	高齢者虐待防止について
2	高齢者の人権と尊厳が尊重される社会を目指して
3	リスクマネジメントについて

※大東市が行う地域ケア会議に参加する予定

介護老人保健施設 すいれん 事業計画

【1】施設方針

- ① コロナ禍でも外部の方にサービスの透明性を確保し、安心してご利用して頂きます。
- ② イベントの充実や職員教育を図り利用満足度を向上します。
- ③ NAS（施設内ファイル共有システム）をより活用できるよう、記録関係の電子化をすすめ、2重3重の業務をなくし業務の円滑化と業務改善を行います。
- ④ 介護老人保健施設や通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所が連携するだけでなく、保健・医療・福祉機関などとも協力し、地域と一体となったケアを行う事で在宅復帰率の向上や新規獲得による稼働向上・安定を行います。

【2】各事業の数値目標

	稼働率	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点	—	60.0%	27.9%	13.5%	△1.4%
介護老人保健施設	94%	57.3%	29.8%	13.9%	△1.0%
通所リハビリ	65%	70.0%	21.0%	13.5%	△4.5%

		担当件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
居宅介護	延べ	1,050件	90.0%	6.9%	4.1%	△1.0%
	1人1月	29件				
介護予防	延べ	570件	90.0%	6.9%	4.1%	△1.0%
	1人1月	15.8件				

【3】拠点各事業の計画

(1) 介護老人保健施設

- ① ブログや広報誌を通して、積極的に施設内で提供するサービスを発信し、コロナ禍でも外部の方に対してサービスの透明性を確保します。
- ② 利用者参加型の施設内行事を増やしイベントの充実を図るとともに、職員教育にも力を入れ、サービスの質の向上を図ります。
  - ・物作りや調理レクリエーションに取り組み、イベントの充実に取り組みます。
  - ・ご利用者やご家族の立場に立ったサービス提供が出来ているか、職員会議で確認しサービスの改善を図りながら、ご利用者本位のサービス提供の意識を身に付けていきます。
- ③ 記録関係の電子化を推進し、伝達事項をスムーズに行えるよう記録データを

整備し重複する記載をなくすなど業務改善に取り組みます。

- ④ すいれん在宅サービスや地域の関係機関と連携し在宅復帰率の向上を目指します。
  - ・ご利用者やご家族より在宅介護に対する不安を聞き取り在宅復帰後の生活について不安が解消されるような様々な提案を行います。
  - ・在宅復帰後も再入所の調整がスムーズに行えるように、在宅生活での状況確認を行います。
- ⑤ 地域の居宅介護支援事業所と関係性を深め、地域が必要としている老健としての役割を分析する事で居宅介護支援事業所からの依頼の増加を目指します。
  - ・地域貢献活動に取り組み、地域の方々との交流の場を設け「すいれん」を周知します。
  - ・居宅介護支援事業所へ、施設の広報誌と一緒にサービスの空き状況を報告し施設の空床状況を案内します。

## (2) 通所リハビリテーション

- ① 介護やリハビリを必要とされている方により多くのサービス提供が行えるよう努めます。
  - ・身体状況に合わせた運動プログラムを実施し、ご利用者、ご家族、ケアマネージャー様にもその効果を見える化しリハビリに対して、意欲の向上に繋がるような仕組みづくりを行ってまいります。
- ② 職員のスキルアップを図る為、研修等を通じサービスの質の見直しを行ない、専門的な知識や技術を身に付ける取り組みを行ってまいります。
  - ・定期的な内部研修や外部研修に参加し、各職員の個々のレベルアップや資格の取得を目指します。
  - ・業務内容を定期的に見直し、業務整理や業務改善を行いサービスの質の向上を行ってまいります。
- ③ 稼働率の向上を目指し、収益の安定を目指します。
  - ・広報誌やブログの活用を行い、居宅介護支援事業所へ空き情報を定期的にお知らせし、新規ご利用者の獲得を目指します。
  - ・ご利用者やご家族の希望や状態に合わせて振替や、利用時間及び回数の見直しを円滑に行い、積極的な振替利用や追加利用を促してまいります。
  - ・すいれんの居宅介護支援事業所、本体施設との連携を強化し、円滑な利用効率に努めます。
- ④ 新型コロナウイルスの感染症対策を引き続き行い、安心してご利用頂ける体制と感染防止に努めてまいります。
  - ・新型コロナウイルスに関する感染予防策を盛り込んだ、集団リハビリの実

施個別のリハビリ等のメニューを検討・実施して参ります。

- ・職員へ感染症対策に関する研修の実施及び、感染症対策を日頃から意識できる体制の構築を目指してまいります。

### (3) 居宅介護支援事業所

- ① 鶴見区を拠点に隣接区・市の関連機関との連携を図り、地域に根付いた事業展開に努めます。
  - ・地域の体操教室などに参加させていただくなど、事業所の周知や相談しやすい環境作りを構築します。
  - ・各地域包括支援センターからの支援困難者の受入れ依頼に積極的に対応します。
  - ・医療機関、法人外の事業所とも日々の業務を通じて、情報を共有するなど地域に密着したサービスの提供に努めます。
- ② 質の高いケアマネジメントが提供できるように努めます。
  - ・各地域包括支援センターが行う事例検討会等に積極的に参加すると共に、事例提出依頼にも積極的に行う事で個々のスキルアップを図ります。
  - ・事業所内でも定期的に会議を開催し、情報・知識の共有を図るなど事業所全体のスキルアップを図ります。
- ③ 併設の介護老人保健施設との連携により、相乗効果によるサービス提供の確保と新規ご利用者の獲得に努めます。
  - ・入所相談から施設退所、在宅復帰までの支援方法を整備する事により、ご利用者・ご家族が安心して施設入所から在宅復帰ができるなど、本体施設や事業所との連携を図り、質のいいサービス提供ができるように図ります。

### 【4】単年度高額支出（予算額）

在宅復帰支援による利用者増やサービス提供体制の強化に対応するため下記の内容を計画します。

- ・パソコン入れ替え(居宅介護支援事業所) 2台 : 300,000円
- ・訪問用単車買い替え(居宅介護支援事業所) 1台 : 200,000円

### 【5】地域の公益的な取組

- ① 地域の方々に向けた企画を検討し、より多くの地域の方々にすいれんを周知していきます。
- ② 地域自治体の体操教室に参加させていただき、地域の方との交流や随時、介護相談などを受けていきます。

- ③ 地域ケア会議などに参加し、地域の関係機関との連携を深め地域支援の取り組み等に協力します。
- ④ 介護老人保健施設の役割に沿った介護教室や勉強会を実施し地域貢献活動に取り組んでいきます。

【6】別表

(1) 年間行事計画

(介護老人保健施設)		(通所リハビリテーション)	
月	行事名	月	行事名
4	屋上お花見 誕生会	4	お花見 誕生会
5	端午の節句 誕生会	5	端午の節句 誕生会
6	喫茶【食べ物の企画】 誕生会	6	すいれん祭り (通所のみ) 誕生会
7	七夕会 誕生会	7	七夕祭り 誕生会
8	夏祭り 誕生会	8	夏祭り 誕生会
9	敬老祝賀会 誕生会	9	敬老祝賀会 誕生会
10	室内運動会 秋まつり 誕生会	10	運動会 誕生会
11	喫茶【食べ物の企画】 誕生会	11	秋祭り 誕生会
12	クリスマス会 誕生会	12	クリスマス会 誕生会
1	元旦祝賀会 誕生会	1	書初め大会 誕生会
2	節分 誕生会	2	節分祭 誕生会
3	桃の節句 誕生会	3	ひな祭り 誕生会

(2) 年間集団リハビリ計画 (介護老人保健施設)

月	実施回数	実施内容
4	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
5	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
6	5	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
7	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
8	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
9	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸

10	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
11	5	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
12	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
1	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
2	4	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸
3	5	今日は何の日・脳トレ・手遊び・全身体操・深呼吸

### (3) 年間研修計画

(介護老人保健施設)

月	内部研修	月	外部研修
4	感染症研修 感染症対応強化訓練 (2週間)	4	介護技術研修
5	感染症研修	5	
6	食中毒研修	6	高齢者虐待研修
7	事故防止に関する研修 感染症対応強化訓練 (2週間)	7	OJT研修
8	認知症に関する研修	8	スキルアップ研修
9	褥瘡研修	9	リスクマネジメント研修
10	褥瘡研修 感染症対応強化訓練 (2週間)	10	感染対策セミナー
11	インフルエンザ ノロウイルス発生時の研修	11	苦情対策研修
12	インフルエンザ ノロウイルス発生時の研修	12	外国人雇用に関する研修
1	危険予測トレーニング研修 感染症対応強化訓練 (2週間)	1	リスクマネジメント研修
2	高齢者の人権・高齢者虐待研修	2	大老健懇親会
3	顧客満足苦情対応研修	3	

(通所リハビリテーション)

月	内部研修	月	外部研修
4	介護技術向上研修	4	高齢者虐待研修
5	人権高齢者虐待身体拘束研修	5	事故防止研修
6	感染症（食中毒）予防研修	6	認知症サポーター研修
7	認知症基礎研修	7	感染症対策研修
8	事故防止研修	8	接遇研修
9	褥瘡予防研修	9	安全運転講習
10	安全運転研修	10	人権研修
11	感染症予防研修	11	介護技術向上研修
12	事故防止研修	12	救急救命対応研修
1	人権高齢者虐待身体拘束研修	1	認知症予防研修
2	救急救命対応研修	2	接遇研修
3	接遇研修	3	終末期ケア研修

(4) 防災訓練 災害時事業継続計画に基づく防災訓練を年2回以上開催します。

月	種別	内容
5	基礎訓練	施設内設備及び避難方法についての研修
8	基礎訓練	水消火器を用いての消化訓練
2	夜間訓練	避難訓練

ケアフル布施 事業計画

【1】施設方針

- ① 新規利用者の獲得及び新たな加算取得により、経営の安定化をめざします。
- ② 情報共有システム、リモート会議等を導入し、業務効率の向上（生産性の向上）に取り組みます。
- ③ 法人の既存施設や事業所との連携体制を構築し、包括的に利用者支援を行います。
- ④ ケアフル布施が持つ障がい者支援や高齢者支援の知識や技術を法人内で活かすと共に、既存施設の知識や技術を取り入れ、サービスの質の向上をめざします。
- ⑤ 感染症や災害が発生した場合であっても、ご利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供されるよう、事業継続に向けた取組みを推進します。

【2】各事業の数値目標

		訪問件数	人件費率	経費率	償却費率	利益率
拠点		—	92.1%	7.6%	1.1%	△0.8%
訪問介護	延べ	8544 件	115.6%	11.8%	1.5%	△28.9%
	1人1日	5.0 件				
障害福祉	延べ	13560 件	68.8%	3.5%	0.2%	27.5%
	1人1日	5.0 件				

※訪問介護及び障害福祉の訪問件数は年間延べ利用者数と職員常勤1の1日あたりの訪問件数

		担当件数	人件費率	経費率	償却率	利益率
居宅介護	延べ	73 件	154.7%	15.6%	20.3%	△90.5%
	1人1月	36.5 件				

※担当件数は年間延べ利用者数と職員常勤1の1か月あたりの担当件数

【3】拠点各事業の計画

(1) ケアフル布施

- ① 経営の安定化を図ります。
  - ・特定事業所加算を取得します。
  - ・サービス提供責任者が毎月新規利用者2名を目標とします。  
 $3 \text{人 (サービス提供責任者)} \times 2 \text{名 (新規利用者)} = 6 \text{名 (新規利用者)}$   
 $6 \text{名} \times 12 \text{ヶ月} = 72 \text{名 (年間新規利用者)}$
  - ・好意にしている居宅ケアマネジャーへ訪問し営業します。
  - ・ケアマネジャーからケアマネジャーを紹介頂き営業範囲を広げます。
  - ・ヘルパーの事業所同士が連携し、それぞれの受入れ枠を柔軟に使用できるよ



う協力体制をつくります。

- ・ケアマネや利用者からの要望にはスピード感をもって対応します。

② ヘルパーの採用を促進します。

- ・知り合い等への声掛けにより人材確保に努めます。

(他社へ登録しているヘルパーで、他社でのヘルパーの声掛けも含む)

- ・他事業所の撤退情報等を速やかに把握し、優れた人材確保につながるよう、普段からケアマネジャーや関係機関との情報交換を密にします。

③ サービスの質の向上に努めます。

- ・コロナ禍における研修体制を構築し、確かな知識と技術を持ち、ご利用者が安全・安心してその人らしい生活が送れるよう、ヘルパーの品質向上に努めます。
- ・ヘルパー個人への指導。
- ・他社のケアマネジャー、訪問看護（医療）との連携をきめ細やかにいき、報告・連絡・相談の共有に努めます。

(2) ケアフル布施介護支援センター

- ① 地域包括支援センターや各関係事業所への定期訪問を行い、情報共有と関係づくりに努めます。

- ② 業務の効率化を継続し、残業時間の削減に努めます。

- ③ 主治医（医療機関）との密な関係を構築します。

- ・担当開始時に挨拶状を届けます。
- ・ケアプランを主治医に届けます。

【4】単年度高額支出（予算額）

訪問介護の特定事業所加算取得及び業務効率の向上の為、下記の内容を計画いたします。

情報共有システム（ケアパレット）導入費：合計1,105,720円

(内訳)

- ・ケアパレットシステム利用料：318,120円（リース／年）  
※5年リース契約：1,590,600円
- ・タブレット20台（ケース込み）：550,000円  
タブレット導入による通信費：237,600円／年

【5】地域の公益的な取組

事業所周辺の地域清掃に取り組みます。

【6】別表

研修計画

ケアフル布施

月	研修内容 (テーマ)
4	接遇について
5	緊急時の対応について
6	倫理及び法令遵守について
7	事故発生時の対応、再発防止について
8	虐待防止について
9	プライバシーの保護について
10	認知症及び認知症ケアについて
11	感染症、食中毒予防及び蔓延防止について
12	介護技術について
1	ヒヤリハットについて
2	利用者・家族のメンタルケアについて
3	生活習慣病について

ケアフル布施介護支援センター

月	研修内容 (テーマ)
4	布施医師会主催 緩和ケア研修・主任ケアマネ研修
5	認定調査現任研修・主任ケアマネ研修
6	あおぞらホーム主催 事例検討会・主任ケアマネ研修
7	東大阪市と介護支援専門員との意見交換会・主任ケアマネ研修
8	地域包括支援センター主催 専門員会議・主任ケアマネ研修
9	住宅改修研修・主任ケアマネ研修
10	あおぞらホーム主催 事例検討会
11	成年後見研修
12	地域包括支援センター主催 専門員会議
1	障害福祉サービス研修
2	あおぞらホーム主催 事例検討会
3	地域ケア会議

検討・実施内容

地域共生会議

- 1) 長引くコロナ禍における新たな地域ニーズ・課題の抽出
- 2) ICTを活用した地域貢献活動の検討及び実施
- 3) 施設間協力による社会貢献活動の検討及び実施

人財採用・育成会議

- 1) 採用フローの検討及び作成
- 2) 法人研修体系についての検討
- 3) 専門職連絡会の研修進捗管理
- 4) 新卒採用に関する採用活動
- 5) 女性活躍推進法における現状調査及び検討

サービス向上会議

- 1) ご利用者満足度アンケートの実施
- 2) 苦情の検証及び課題抽出
- 3) 法人スローガンの制定
- 4) 第三者評価受審後の水平展開
- 5) 表彰顕彰制度の実施

リスクマネジメント推進会議

- 1) 時勢に応じて、「新型コロナウイルス感染症拡大予防対策ガイドライン」の見直しとガイドラインの周知及び実施の推進。
- 2) 「ヒヤリ・ハット報告書」の活用の促進し、内容・場所・時間等の数値化（見える化）を図り、事故防止を推進。
- 3) 利用者及び家族への適切な支援に向け、年2回開催の第三者苦情解決報告会内容の周知と改善取り組みの推進。